

# **(仮称) 大阪新美術館**

## **インフォメーション・パッケージ**

**大阪市経済戦略局**

昭和58年8月	大阪市制100周年記念事業基本構想の一つとして近代美術館の建設を公表  (以降、作品の寄贈・購入によりコレクションを形成)
平成10/15年	中之島に建設用地を購入
平成26年9月	『新美術館整備方針』を策定
平成29年2月	公募型設計競技（設計コンペ）において最優秀の設計提案を決定
2021年度中 (平成33年度)	開館予定

詳細は大阪市ホームページを参照

<http://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000020944.html#1000>

- ◆ 佐伯祐三や吉原治良に代表される大阪が育んだ作家の作品を中心とした**第一級のコレクション**を活かし、国内トップクラスのミュージアムをめざす。
- ◆ 「**大阪と世界の近現代美術**」をテーマとしたミュージアムとして、市立美術館や東洋陶磁美術館にはない、新たな魅力を創造する。
- ◆ 歴史的にも文化的にも豊かな蓄積をもつ**中之島を拠点**として、文化の振興や都市の魅力向上に貢献する。
- ◆ **民間の知恵を最大限活用**しながら、顧客目線を重視し利用者サービスに優れたミュージアムとする。

### ◆ 収集保存や調査研究の実施

- ・ 20世紀から現代にいたる国内トップクラスのコレクションを軸に、収集・保存活動を積極的に展開。
- ・ 中之島に拠点があった具体美術協会をはじめ、大阪・関西の近現代美術を中心として、特色ある研究を行い、広く発信。
- ・ 豊富な所蔵資料を最大限に活用して、世界に発信するアーカイブを構築。  
（※アーカイブ=重要な記録（資料）を保存・活用する機能・機関）

### ◆ 特色ある展覧会の開催

- ・ 独自の文化を育み、優れた作家を育ててきた大阪の地域性も踏まえながら、これまでにないアプローチで魅力的な展覧会を開催。
- ・ 展覧会と関連したさまざまな活動を行い、市民にアートの価値をわかりやすく伝える。
- ・ 生活におけるデザインの価値を再発見するとともに、新しいアイデアにつながる幅広い活動を展開。

### ◆ 交流の場の提供

- ・ 展覧会を鑑賞する人だけでなく、すべての人が気軽に訪れることのできるオープンな空間や緑地をそなえた、広場としてのミュージアムをめざす。
- ・ ハード（建物）とソフト（活動）の両面においてこちよ、憩いの場を提供。
- ・ 観光と結びつき、都市の魅力向上に貢献する。

### ◆ 教育普及の実施

- ・ 学 校：アートを学ぶことにとどまらず、アートで学ぶプログラムを学校とともに推進。
- ・ 市 民：アートを通して、生涯にわたるまなびの場を提供。
- ・ こども：ミュージアムに集まる作品やアーティストを通して、こどもの心や創造力の成長をうながす、まちの教室をめざす。

### ◆ さまざまな分野との連携

- ・ 大学や企業、研究機関等と連携して調査研究を行い、その成果の普及に取り組む。
- ・ アーティストやデザイナーと協働しながら、作り手と市民が交流し、ともに創造する機会（ワークショップ等）を提供。

### 概要

- ◆ 19世紀後半から今日に至る日本と海外の代表的な美術作品を核としながら、地元大阪で繰り広げられた豊かな芸術活動にも目を向け、約4,000点の寄贈と約1,000点の購入をあわせた約5,000点のコレクションを所蔵（寄託品を除く）。
- ◆ コレクションは、洋画、日本画、海外の近代絵画、現代美術、版画、写真、彫刻、デザインなどの領域にわたる。とりわけ佐伯祐三の名作、モディリアーニの裸婦像、具体美術協会のリーダー・吉原治良の作品、海外作家の代表作などは、国内外で高く評価。
- ◆ 貴重な寄託品も寄せられ、2012年にはサントリーポスターコレクション（約18,000点）が加わることで、すでに収集している家具や食器などとともに世界有数のデザインコレクションを形成。
- ◆ これらの作品はコレクション展を中心に、市内外で開催してきた60回を超える展覧会で展示。また、収蔵品の貸し出しも行い、これまで3,000点もの作品を国内と海外の美術館800カ所以上で出展。

詳細は大阪市ホームページを参照

<http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu120/artrip/gallery.html>

### 佐伯祐三



立てる自画像  
1924年



ロシアの少女  
1924年



壁  
1925年



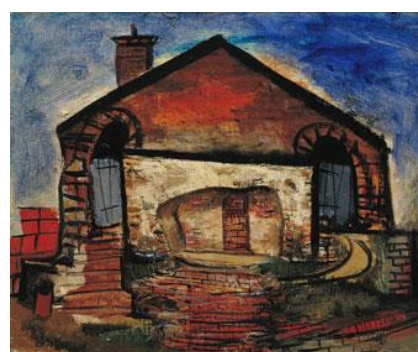
汽船  
1926年頃



街角の広告  
1927年



レストラン(オテル・デュ・マルシェ)  
1927年



煉瓦焼  
1928年

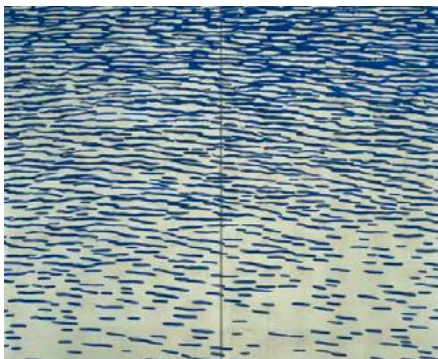


郵便配達夫  
1928年

- ◆ 現在の大阪市北区に生まれた画家・佐伯祐三（1898—1928）のコレクションにおいて、第一級の規模と内容を誇る。佐伯芸術の真価を最初に見いだしたのは、大阪の実業家で美術コレクター・山本發次郎。戦災を免れた収集品のうち、代表作を含む31点が1983年に大阪市へ寄贈され、現在、寄託品を含めて約60点の佐伯祐三作品を収蔵。



### 日本の近代美術



福田平八郎<漣>1932年



岸田劉生  
<静物(湯呑と茶碗と林檎三つ)>1917年



赤松麟作  
<裸婦>昭和初期



小出楯重  
<菊花>1926年



藤島武二  
<カンピドリオのあたり>1919年



北野恒富  
<涼み>1926年

- ◆ 岸田劉生や福田平八郎など、明治から昭和初期の時代に活躍した芸術家の作品を所蔵。小出楯重や赤松麟作、村上華岳や北野恒富など、大阪ゆかりの芸術家の優れた作品も所蔵しており、公立の美術館として今後も近代大阪の美術に関する調査研究をすすめ、作家や作品の価値を後世に伝える。

## 西洋近代美術



アメデオ・モディリアーニ  
<髪をほどいた横たわる裸婦>1917年



キスリング  
<オランダ娘>1922年



アンドレ・ドラ  
<コリウール港の小舟>1905年



モーリス・ユトリロ  
<グロレーの教会>1909年



ウンベルト・ボッチョーニ  
<街路のカ>1911年



レイモン・デュシャン=ヴィヨン  
<大きな馬>1966年

- ◆ 世界に誇るモディリアーニの裸婦像、パスキン、キスリング、ブランクーシなど、エコール・ド・パリの充実したコレクションは国内外に知られる。また、野獣派、キュビズム、ダダ、シュルレアリスム、未来派、構成主義など、20世紀前半にヨーロッパを中心に展開した前衛的な芸術潮流を語る作家の代表作を所蔵。



### デザイン

- ◆ 19世紀後半のアーツ・アンド・クラフツ運動から、アール・ヌーヴォー、20世紀のウィーン工房、デ・ステイル、バウハウス、北欧のアールトなど、西洋近代の芸術思潮と相まって地域的な広がりを見せたモダン・デザインの流れを示す作品を所蔵。
- ◆ 2012年にはサントリーポスターコレクション（約18,000点）が寄託され、世界と日本のグラフィックデザインの優れた作品群が加わる。



倉俣史朗  
<ミス・ブランチ>1989年



ヘリット・トーマス・リートフェルト  
<肘掛け椅子>1918年

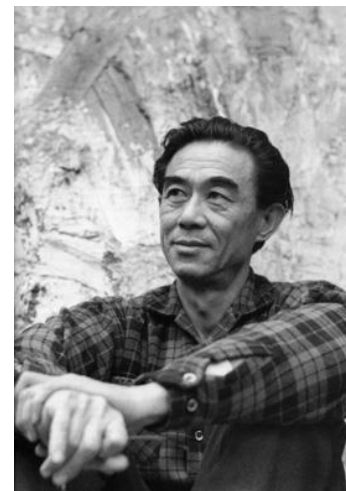
### 20世紀後半から今日までの美術

- ◆ 第二次世界大戦後から今日にいたる代表的な日本人作家に加え、アメリカの抽象表現主義やミニマル・アート、ヨーロッパから国際的な広がりを見せたアンフォルメル、アルテ・ポーヴェラをはじめ、個性的な活動で時代を築いた海外作家の作品を所蔵。さらに、大阪や関西を拠点とする優れたアーティストや、国際的に活躍する日本の現代作家の作品も所蔵。

### 吉原治良と具体美術協会



作品  
1965年



吉原治良

- ◆ 戦後日本を代表する芸術運動のひとつである「具体美術協会」（具体）のリーダー・吉原治良の作品を約800点、会員の作品を約100点所蔵。新美術館は、「具体」の活動拠点であった「グタイピナコテカ」がかつて所在した中之島に開館する。「具体美術協会」関連資料の寄贈を受け、「具体」研究と発信の国際的な拠点となるべくアーカイブの構築をすすめている。

## 作品数

### 収蔵品

	収蔵点数	主な作家
日本近代	1,869	佐伯祐三、岸田劉生、福田平八郎、小出檐重など
西洋近代	277	モディリアーニ、ダリ、マグリットなど
日本現代	1,917	吉原治良、森村泰昌など
西洋現代	119	ロスコ、ステラ、バスキアなど
デザイン	216	リートフェルト、倉俣史朗など
墨蹟	232	山本發次郎コレクション
染織	288	山本發次郎コレクション
その他	10	
計	4,928	

### 寄託品

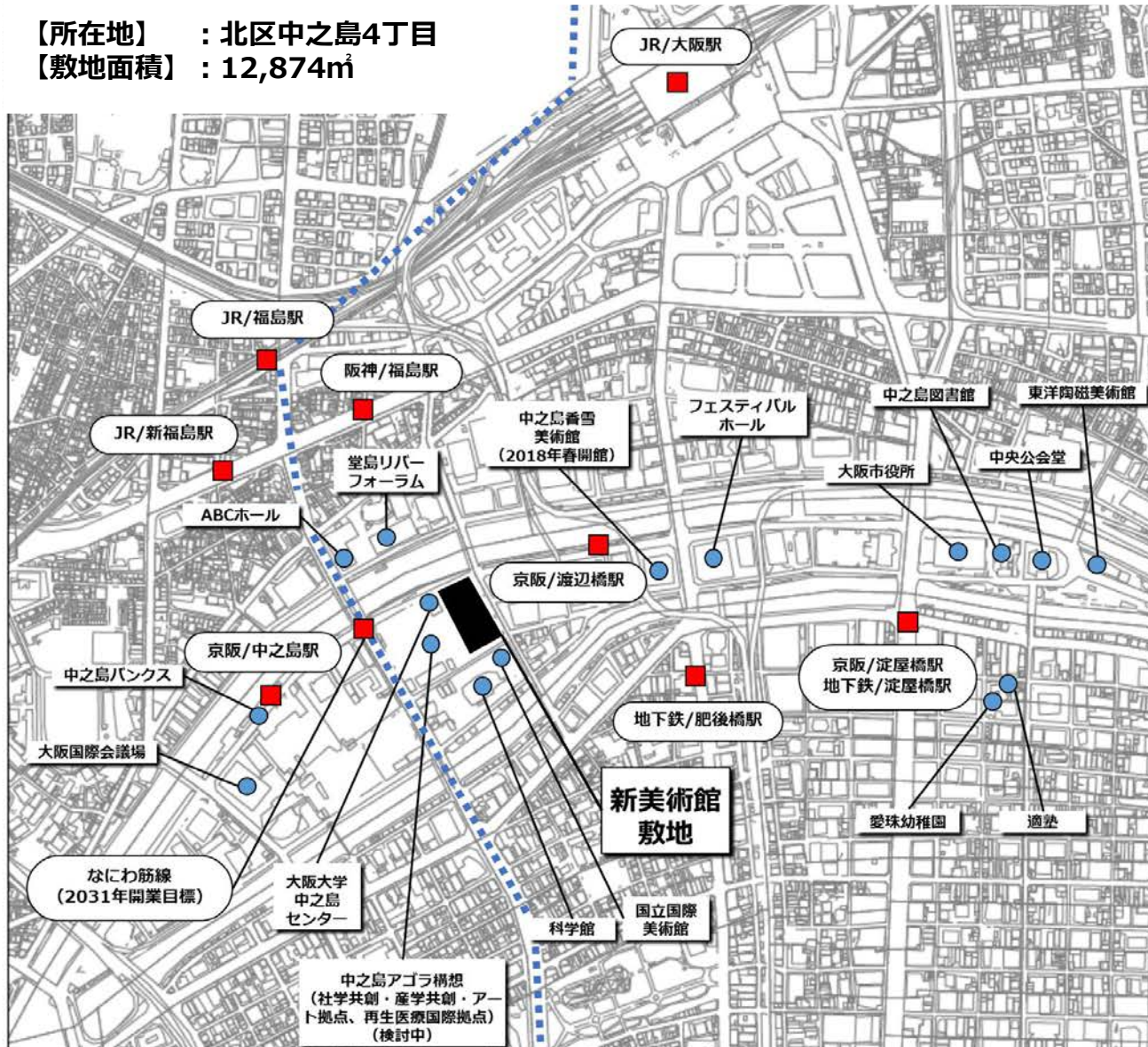
	収蔵点数	主な作家
サントリーポスター コレクション	18,076	ロートレック、ボナール、カッサンドルなど
その他	269	佐伯祐三、竹内栖鳳、北野恒富、菅楯彦など
計	18,345	

(平成29年3月現在)

# 5. 立地

## (仮称) 大阪新美術館

【所在地】 : 北区中之島4丁目  
 【敷地面積】 : 12,874㎡



### 【中之島エリアの特徴】

- ◆ 江戸時代には多くの蔵屋敷が立地するなど、古くから大阪の経済や文化の中心地
- ◆ 堂島川と土佐堀川にはさまれた特徴をもつ、水都大阪のシンボルゾーン
- ◆ 集客施設や歴史的建築物が点在し、文化芸術ゾーンとして高いポテンシャル

交通機関	最寄駅	徒歩時間
京阪	中之島線 淀屋橋駅 (2番出口)	3分
	中之島線 中之島駅 (6番出口)	3分
	淀屋橋駅 (地下鉄7番出口)	11分
地下鉄	四つ橋線 肥後橋駅 (4番出口)	5分
	御堂筋線 淀屋橋駅 (7番出口)	11分
JR	大阪環状線 福島駅	10分
	東西線 新福島駅 (2番出口)	8分
	大阪駅	16分
阪神	福島駅	6分